

人とAIの〈WE〉社会

—AIが人格や道徳をもったら—

様々なITサービスが生成AIを前提として作り変えられつつあり、世の中を大きく変えるきっかけになるとうとしています。このような生成AIをはじめとする新興テクノロジーの社会への浸透は、私たちの社会にどのような影響を与えるのでしょうか。生産性の向上や創造性の開放、新市場の形成というメリットが期待される一方で、思考意欲の低下やテクノロジーへの依存、社会的孤立といった負の問題も議論されています。本シンポジウムでは、生成AI時代におけるAIと人の未来像に関する基調講演に続き、ガバナンスや、道徳的エージェント、信頼されるAIに取り組んでいる研究者をそれぞれお呼びし、ポスト生成AI時代の人とテクノロジーのあるべき姿について、理論と実践の両面からパネルディスカッションを通して議論します。

日時 **2024.1.22** 月 **13:00 - 15:00**
(開場12:00)

主催 日立京大ラボ、京都大学、よりよいスマートWEプロジェクトチーム※

場所 東京コンベンションホール (オンライン同時開催)

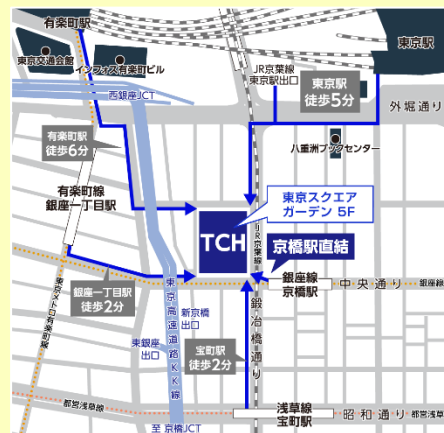
費用 無料

申込 下記Webサイトよりお申し込みください



<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/event2/form.jsp>

会場参加：定員200名 (先着順)



プログラム [司会] 嶺 竜治 日立製作所 日立京大ラボ ラボ長代行 京都大学 日立未来課題探索共同研究部門 特定准教授

13:00-13:05 開会挨拶 時任 宣博 京都大学 研究・評価担当理事、副学長

【基調講演】

13:05-13:30 人<わたし>と人格をもったAI<e-ひと>が共生する<WE>社会へ 出口 康夫 京都大学大学院 文学研究科 教授

【講演およびパネルディスカッション】

13:30-14:55 **講演1** アジャイル・ガバナンス：科学技術と共進化する法システムを目指して 稲谷 龍彦 京都大学大学院 法学研究科 教授

講演2 なぜAIは道徳的でなければならないのか 杉本 俊介 慶應義塾大学 商学部 准教授

講演3 <WE>社会へ向けたAIの技術動向と社会システムへの実装 松村 忠幸 日立製作所 日立京大ラボ 主任研究員

休憩 (5分)

パネルディスカッション

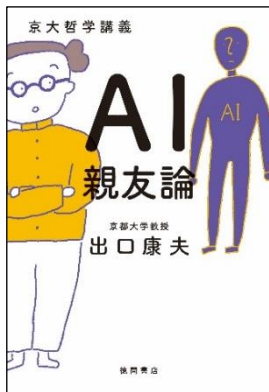
<WE>社会のイノベーションと企業

[話題提供者] 基調講演者、講演者
[指定討論者] 渡邊 淳司 日本電信電話株式会社 (NTT) 上席特別研究員

[モデレーター] 水野 弘之 日立製作所 日立京大ラボ ラボ長

14:55-15:00 閉会挨拶 西澤 格 日立製作所 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長

基調講演



人<わたし>と人格をもったAI<e-ひと>が共生する<WE>社会へ

「人間はAIを適切に使いこなし制御することができるのか、それともAIによって凌駕され支配されてしまうのか？」生成AIの爆発的普及を契機として、今改めて「人間とAIのあるべき関係」が問われている。本発表は、従来の人間観を哲学的に深掘りし、誰もが利益の中心を独占しない「中空的WE（われわれ）」という考えを手がかりに、「支配するか、されるのか」という二者択一に陥らない、人間のAIとの間の「第三の関係」を提示したい。



出口 康夫
京都大学大学院
文学研究科 教授

講演



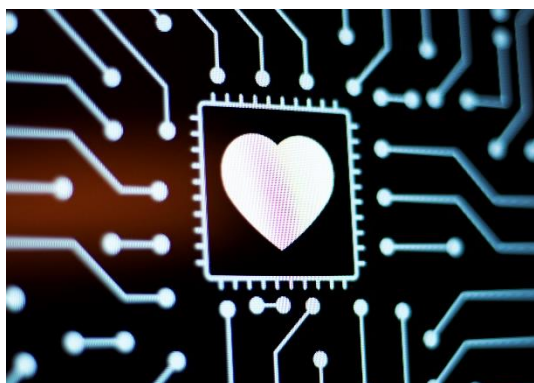
講演 1

アジャイル・ガバナンス：科学技術と共進化する法システムを目指して

テクノロジーが日々進化する中で、事前にリスクを想定し、法律やルール制定する従来のガバナンスが立ち行かなくなりつつあり、失敗を許容し、学び、改善し続けるアジャイル型のガバナンスが求められている。本講演では、アジャイルガバナンスの全体像と、各ステークホルダーの役割について議論する。



稲谷 龍彦
京都大学大学院
法学研究科 教授



講演 2

なぜAIは道徳的でなければならないのか

道徳や倫理が大切ということは、広く社会で共有されている。しかし、そもそも、なぜ道徳の観点に立つべきなのか？なぜ道徳的でなければならないのか？については、それを問うこと自体が不道徳とされてきた。本講演では、私たちの根本的な価値観に立ち返り、道徳的であるべき理由をめぐる倫理的な問いと、どのような道徳的エージェントが望ましいかについて議論する。



杉本 俊介
慶應義塾大学
商学部 准教授



講演 3

<WE>社会へ向けたAIの技術動向と社会システムへの実装

生成AIをはじめとする、様々なAIの社会実装を巡る議論が本格化している。本講演では、AI技術の進展と事業機会を俯瞰し、その課題と解決に向けてe-ひとに求められる役割について議論する。そして、e-ひとをエージェントとして持つ<WE>社会において、サイバーフィジカルシステムが拓く新しい社会に向けた日立京大ラボの取り組みについて述べる。



松村 忠幸
日立製作所
日立京大ラボ
主任研究員